

震災復興に関する岩手大学の主な活動（平成23年10月～）

H24.10.1現在

下記の活動のほか、復興支援のための各種調査研究、行政・企業・住民等への助言活動などを実施しています。

●教育支援部門

（学習支援班、芸術・体育支援班、いわて高等教育コンソーシアム連携班）

	内 容	活動場所	期 間	従 事 者 数	担当教職員・部署名	備 考
1	学習支援活動	大槌町	H23.12.25 ～H24.2.12	学生 延べ29名 教員 1名	新妻 二男(教育学部)	コラボ・スクール「大槌臨学舎」での活動 主催：NPO法人カタリバ 後援：岩手大学、大槌町教育委員会ほか
		釜石市	H23.12.25 ～H24.3.4	学生 延べ29名 教員 1名	新妻 二男(教育学部)	高校受験対策講座タダゼミでの活動 主催：NPO法人キッズドア
		宮古市	H24.1.4 ～H24.1.6	学生 延べ39名 教員 4名	山崎 友子(教育学部)他	宮古市立田老第一中学校での活動
		釜石市	H24.8.4 ～H24.8.31	学生 延べ68名 教員 1名	新妻 二男(教育学部)	釜石市教育委員会主催
2	吹奏楽部活動支援	陸前高田市	H24.6.3 H24.7.1	学生 延べ8名 教員 1名	牛渡 克之(教育学部)	県立高田高校での活動
3	部活動支援	宮古市	H24.7.27 ～H24.8.7	学生 延べ9名 教員 1名	栗林 徹(教育学部)	宮古市立田老第一中学校での活動
4	「いわて大運動会ーいわてスポーツクリニックー」の開催	岩手大学	H24.8.25～26	—	岩手大学スポーツユニオン	沿岸の中中学生を対象に、朝原宣治氏(北京五輪銅メダリスト)などによるスポーツ教室を実施 (日本アスリート会議、東京都と共催)
5	日本女子体育大学 復興応援公演の開催支援	住田町	H24.9.8	—	岩手大学スポーツユニオン	日本女子体育大学の新体操部、ソングリーディング部、ダンスプロデュース部による公演。町内外から約220名が来場

●生活支援部門

(ボランティア班、心のケア班、被災動物支援班、文化財保護支援班、地域コミュニティ再建支援班)

	内 容	活 動 場 所	期 間	従 事 者 数	担 当 教 職 員 ・ 部 署 名	備 考
●学生ボランティア						
1	陸前高田市災害ボランティアセンター運営支援、みちくさルーム(子どもを対象とした遊び場の提供)の運営支援等	陸前高田市	H23.4.7~	学生 延べ374名 教員 延べ9名	松木 佐和子(農学部)他 「もりもり☆岩手」(学生ボランティア団体)	
2	宮古市内の支援ニーズ調査、屋内片付け、地域のイベント運営支援等	宮古市	H23.4.13~	学生 延べ685名 教職員 延べ74名	名古屋 恒彦(教育学部)他 「天気輪の柱」(学生ボランティア団体)	活動拠点: 盛岡YMCA宮古ボランティアセンター
●教職員ボランティア						
3	釜石市災害ボランティア(がれき撤去等)	釜石市	H23.9.17 ~H23.10.29	職員 延べ30名	名古屋 恒彦(教育学部)	主催:NPO法人hands
●スポーツ活動支援						
4	スポーツ・レクリエーションの実施	岩手県内 沿岸市町村	H24.1~	—	岩手大学スポーツユニオン 地域連携推進センター	沿岸市町村等に、地域スポーツコーディネーターを配置。各市町村の福祉担当部署や社会福祉協議会と連携してイベントを開催
●心のケア						
5	「いわて子どもの心のサポートチーム」への参加(教員研修会、トラウマ反応査定調査の作成・分析、「心のサポート授業」案作成、コンサルテーション等)	岩手県内 各市町村	H23.4 ~H24.3	教員 1名	山本 奨(教育学部)	主催:岩手県教育委員会 計35回活動
6	岩手県立釜石高校および大槌高校へのスクールカウンセラー派遣	釜石市 大槌町	H23.9~	教員 7名	<釜石高校> 立原聖子(班長)(保健管理センター) 豊田洋子(保健管理センター) 加藤義男(名誉教授) <大槌高校> 山口浩(班長)(人文社会科学部) 織田信男(人文社会科学部) 早坂浩志(保健管理センター) 山本奨(教育学部)	H23年度は、釜石高校に19回、大槌高校に25回派遣。 H24年度も、釜石高校は立原、豊田の2名がそれぞれ月1回(高校としては月に2回)、大槌高校は、山口、織田、早坂、山本がそれぞれ月1回(高校としては毎週1回月4回)スクールカウンセラーとして支援する予定
7	リラクゼーション研修会の開催	宮古市 釜石市 花巻市	H24.1.12 ~H24.3.31	教員 延べ13名 学生 延べ14名	山口 浩(人文社会科学部)	期間中、計7回開催
8	被災した子どもの心のケア研修会講師	一関市	H24.2.14	教員 1名	早坂 浩志(保健管理センター)	岩手県保健福祉部児童家庭課からの要請

9	臨床心理士資格を持つ特任教員の釜石サテライト常駐	釜石市 (常駐場所)	H24.3.15～	教員 1名	佐々木 誠(三陸復興推進機構)	釜石サテライトを拠点として、研修会講師やスクールカウンセラーへの助言等を実施
10	仮設住宅住民へのこころのサポート活動	宮古市	H24.6.2 H24.8.4	教員 1名 学生 延べ4名	山口 浩(人文社会科学部)	県臨床心理士会主催の活動に参加 (グリーンピア三陸みやこの仮設団地にて活動)
●被災動物支援						
11	「被災動物なんでも相談会」の開催	大船渡市	H23.12.23	教職員 5名	佐藤 れえ子(動物病院長)	
12	「平成23年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会(北海道)」での講演 (テーマ:被災伴侶動物に対する救護活動と被災獣医師に対する支援活動)	北海道	H24.2.3	教員 1名	佐藤 れえ子(動物病院長)	
13	ペット専用移動診療車「ワンにゃん号」による動物診療	大船渡市 陸前高田市	H24.4.18	教員 6名 学生 1名	佐藤 れえ子(動物病院長)他	現地の動物病院と協力して、犬、桜文鳥、ウサギを診療
		宮古市	H24.6.17	教員 6名 学生 2名	佐藤 れえ子(動物病院長)他	「2012動物ふれあいデーin宮古」(被災動物支援隊いわて主催)にて犬、猫に対する動物診療・相談等を実施。
●文化財保護支援						
14	陸前高田市立図書館所蔵「吉田家文書」(県指定文化財)の分類・整理への協力	岩手県立博物館	H23.10.1～	教員 1名	菅野 文夫(教育学部)	岩手県立博物館に協力
15	大槌町における被災文化財の調査と救出	大槌町	H23.10.19 ～H23.11.6	教員 2名 学生 12名	佐藤 由紀男(教育学部) 菅野 文夫(教育学部)	大槌町教育委員会と連携 平成24年2月29日 既調査分の調査報告書を刊行
16	大槌町で救出した前川家資料の分類・整理への協力	岩手県立博物館	H23.11.1～	教員1名	菅野 文夫(教育学部)	岩手県立博物館に協力
17	静岡県浜松市主催「文化財ボランティア養成講座」での講演 (テーマ:東日本大震災の文化財被災)	静岡県	H24.2.18	教員 1名	佐藤 由紀男(教育学部)	岩手大学の文化財保護支援活動の紹介を主として講演
18	岩手歴史民俗ネットワーク 「岩手県上閉伊郡大槌町被災文化財確認調査報告書」の刊行	—	H24.3	教員 2名	佐藤 由紀男(教育学部) 菅野 文夫(教育学部)	
19	山田町での被災文化財の調査	山田町	H24.7～	教員 1名	佐藤 由紀男(教育学部)	GISデータを利用した文化財調査を実施

●地域コミュニティ再建支援						
20	東日本大震災復興構想会議 検討部会 委員	東京都	H23.4.11 ～H24.2.10	教員 1名	廣田 純一(農学部)	H23.6.25 構想会議「復興への提言」発表 H24.2.10 復興庁設置に伴い会議廃止
21	岩手県東日本大震災津波復興委員会 総合企画専門委員会 委員	岩手県	H23.4.22～	教員 2名	廣田 純一(農学部) 南 正昭(工学部)	8月11日、「岩手県東日本大震災津波復興計画」を策定
22	山田町東日本大震災津波復興策定委員会 委員	山田町	H23.5.9 ～H23.12	教員 1名	三宅 諭(農学部)	12月、復興計画策定
23	避難生活調査	大槌町	H23.9 ～H23.11	教員 3名 学生 20名	麦倉 哲(教育学部) 梶原 昌五(教育学部)	12月3日、大槌町にて報告会開催
		山田町	H24.2.18～	教員 2名 学生 9名		
		盛岡市 (講演)	H24.2.16	教員 2名		いわてNPOフォーラム21主催のイベントにて、調査活動について講演
24	大槌町復興まちづくり創造懇談会 アドバイザー	盛岡市	H23.10.1 ～H24.3.31	教員 1名	井上 博夫(人文社会科学部)	
25	東京都港区主催「高輪地区防災フォーラム」での基調講演 (テーマ:震災復興と地域づくり)	東京都	H23.11.3	教員 1名	廣田 純一(農学部)	
26	盛岡市 東日本大震災盛岡市復興推進アドバイザーボード 座長	盛岡市	H23.11.18 ～H26.3	教員 1名	廣田 純一(農学部)	
27	2011年度東北地域災害科学研究集会 講演 (テーマ:津波避難行動の実態－田野畑村羅賀・島越地区の場合－)	盛岡市	H24.1.7～8	教員 1名	廣田 純一(農学部)	
28	復興まちづくり研究室(たろちゃん研究室)の開設	宮古市	H24.3.11 (開設日)	教員 1名	南 正昭(工学部)	工学部社会環境工学科都市計画学研究室の田老分室として、グリーンピア三陸みやこ内に設置。
29	岩手県、政策研究大学院大学主催 「岩手復興フォーラム」でのパネルディスカッション (テーマ:安全・暮らし・なりわいの再生)	東京都	H24.3.26	教員 1名	廣田 純一(農学部)	
30	陸前高田市の商店街等の支援	陸前高田市	H23.12～	教員 1名 学生有志	五味 壮平(人文社会科学部) 岩大E_code	陸前高田市の復興支援として、市内の商店等を紹介するフリーペーパー「いいことマップ」を発行中

●水産業復興推進部門

(水圏環境調査班、水産・養殖班、水産新素材・加工技術・加工設備開発班、マーケティング戦略班)

	内 容	活 動 場 所	期 間	従 事 者 数	担 当 教 職 員 ・ 部 署 名	備 考
1	ハーブ抽出物を活用した干物製造技術の開発	—	H23.10.1～	教員 1名	三浦 靖(農学部)	新技術により製造された「ハーブ干物」は、平成24年3月に試験販売、4月以降製品化予定
2	三陸水産業の復興と地域の持続的な発展に向けた3大学連携推進に関する基本合意締結	—	H23.10.30～	学長	藤井 克己(学長)	東京海洋大学及び北里大学と基本合意(協定)締結。 10月30日、釜石市内にて調印式開催。
3	三陸水産業の復興に向けた3大学連携推進シンポジウム	釜石市	H23.10.30	理事・副学長 1名 教員 1名	岩淵 明(理事・副学長) 三浦 靖(農学部)	東京海洋大学及び北里大学との共催
4	三陸沿岸の海洋生態系研究	大槌町 (研究拠点)	H23.12～	教員 10名	海田 輝之(工学部)他	文部科学省「東北マリンサイエンス拠点形成事業」採択事業 東京大学と連携して実施
5	「全国水産系研究者フォーラム」の開催	釜石市	H24.1.7	理事・副学長 1名 (講演者)	岩淵 明(理事・副学長)	東京海洋大学及び北里大学との共催
6	水産業関係者との車座研究会の開催	釜石市	H24.2.15	理事・副学長 1名 教職員 11名	岩淵 明(理事・副学長)	
		久慈市	H24.6.13	教職員 4名	小野寺 純治(地域連携推進センター) 久慈エクステンションセンター	
7	水産物高付加価値化プロジェクトの実施	—	H24.7.3～	教員 3名	菅原 悦子(教育学部) 三浦 靖(農学部) 対馬 正秋(地域連携推進センター)	キリンビールの支援を受け実施 三陸沿岸の企業のほか、福井県立大学の宇多川隆教授と共同で研究開発
8	いわてデザインネットワーク・ボランティアの設立	—	H24.8.1 (設立日)	—	対馬 正秋(地域連携推進センター)	県立産業技術短期大学校、盛岡情報ビジネス専門学校、県工業技術センターと連携して、企業の商品デザインやブランディング戦略などを支援
9	三陸沿岸域の特性やニーズを基盤とした海藻産業イノベーション(海藻アカモクの抗肥満効果の実証実験)の実施	山田町	H24.8～	教員 1名	三浦 靖(農学部)	文部科学省「東北マリンサイエンス拠点形成事業」採択事業 北海道大学、札幌医科大学と連携して実施
10	「発酵食品開発セミナー」の開催	釜石市	H24.9.14	教員 1名	対馬 正秋(地域連携推進センター)	
11	「甲子柿セミナー～甲子柿のブランド化・商品開発について考える」の開催	釜石市	H24.9.23	教員 3名	三浦 靖(農学部) 対馬 正秋(地域連携推進センター) 五日市 知香(客員准教授)	生産者や加工業者等約40名が参加

●ものづくり産業復興推進部門

(技術研究・指導班、人材育成班、インキュベーション班)

	内 容	活 動 場 所	期 間	従 事 者 数	担 当 教 職 員 ・ 部 署 名	備 考
1	金型加工技術者育成実践研修の開催(共催) (被災求職者や被災企業在職者等を対象)	北上市	H23.11 ~H23.12	—	工学部附属ものづくり融合化センター 地域連携推進センター	北上オフィスプラザと共催
2	(財)釜石・大槌地域産業育成センターの復旧支援	釜石市	H23.12~	—	小野寺 純治(地域連携推進セン ター)	センター復旧後、同所にて地域の産業復興支援 を行う予定
3	女性起業家育成・新規事業化セミナーの開催	久慈市	H24.7.18	—	佐藤 利雄(地域連携推進センター)	

●農林水産業復興推進部門

(農地復興班、高収益型農畜産復興支援班、林業・林産業復興支援班、農林畜産復興総合計画班)

	内 容	活 動 場 所	期 間	従 事 者 数	担 当 教 職 員 ・ 部 署 名	備 考
1	岩手県内における放射能汚染対策	岩手県内 各市町村	H23.6.1~	教員 1名 学生 2名	築城 幹典(農学部)	
	牧草の放射性セシウム検査及び情報提供		H23.10.7			
2	岩手県原発放射線影響対策本部 アドバイザー	岩手県	H23.9.1~	教員 3名	西崎 滋(副学長) 佐藤 至(農学部) 築城 幹典(農学部)	
3	エコハウス建設への協賛	山田町 大槌町 (建設場所)	H23.9 ~H23.12	教員 1名	関野 登(農学部)	床と屋根のパネルに「復興ボード」を使用
4	「日本木材加工技術協会木質ボード部会シンポジウム」講演(テーマ:震災廃木材を再資源化した「復興ボード」の生産・活用支援プロジェクト-岩手沿岸地域の木材関連産業の復興と雇用創出を目指して-)	東京都	H23.10.7	教員 1名	関野 登(農学部)	
5	津波被害を受けた農地の復興に向けた栽培実験の実施	久慈市 陸前高田市	H23年度~	教員 2名	河合 成直(農学部) 岡田 益己(農学部) 松嶋 卯月(農学部)他	久慈市と陸前高田市に試験圃場を設け、除塩効果の測定等の各種実験を実施

●地域防災教育研究部門（H24.4.1から岩手大学地域防災研究センターが部門運営）

	内 容	活 動 場 所	期 間	従 事 者 数	担 当 教 職 員 ・ 部 署 名	備 考
1	岩手県東日本大震災津波復興委員会 津波防災技術専門委員会 委員長・委員	岩手県	H23.4.22～	教員 3名	堺 茂樹(工学部)※委員長 南 正昭(工学部) 山本 英和(工学部)	8月11日、「岩手県東日本大震災津波復興計画」を策定
2	岩手県東日本大震災津波復興委員会 総合企画専門委員会 委員	岩手県	H23.4.30～	教員 2名	廣田 純一(農学部) 南 正昭(工学部)	8月11日、「岩手県東日本大震災津波復興計画」を策定 ※再掲
3	山田町東日本大震災津波復興計画策定委員会 委員	山田町	H23.5.9 ～H23.12	教員 1名	三宅 諭(農学部)	12月、復興計画策定 ※再掲
4	野田村東日本大震災津波復興計画策定委員会 委員	野田村	H23.6.23 ～H23.11	教員 1名	堺 茂樹(工学部)	11月、復興計画策定
5	自然講座「自然災害から学ぶー地震・津波・火山」での講演 (テーマ:地震の発生、津波の発生、地震と岩手山火山との 関連について)	滝沢村	H23.10.8 H23.10.15 H23.11.12	教員 1名	土井 宣夫(教育学部)	主催:滝沢村教育委員会
6	「工学フォーラム2011」パネルディスカッション パネリスト (テーマ:災害に強い社会づくり～最新の研究から～)	福岡県	H23.10.22	教員 1名	西谷 泰昭(工学部)	
7	日本土地環境学会 一般公開シンポジウム「震災復興の現状と課題」基調報告 (テーマ:岩手三陸における復興まちづくり)	盛岡市	H23.10.29	教員 1名	南 正昭(工学部)	
8	民主党地方自治体議員フォーラム全国研修会・総会 講演 (テーマ:東日本大震災 その時、地方議員に何ができたか)	東京都	H23.11.7	教員 1名	南 正昭(工学部)	
9	日本学術会議東北地区会議主催 2011年度公開学術講演会 講演 (テーマ:岩手県沿岸での小中学校の津波防災教育と東日本 大震災における避難行動)	盛岡市	H23.11.11	教員 1名	堺 茂樹(工学部)	
10	岩手県 河川・海岸構造物の復旧等における環境・景観検討委員会 委員長・委員	岩手県	H23.11.17～	教員 2名	南 正昭(工学部)※委員長 竹原 明秀(人文社会科学部)	
11	公開シンポジウム「岩手三陸復興まちづくりに向けて」の開催	岩手大学	H23.12.15	教員 1名	南 正昭(工学部)	
12	2011年度東北地域災害科学研究集会 講演 (テーマ:岩手県におけるこれまでの津波防災対策とその効果 の検証)	盛岡市	H24.1.7～8	教員 1名	堺 茂樹(工学部)	

13	震災から学ぶ生涯学習フォーラム 基調講演 (テーマ:岩手三陸における復興まちづくりに向けて)	久慈市	H24.1.28	教員 1名	南 正昭(工学部)	
14	東日本大震災での避難行動についてのアンケート実施 (対象:沿岸12市町村の小中学校180校)	岩手県内 沿岸市町村	H24.1	—	工学部附属地域防災研究センター	岩手県と合同で実施 今後の防災活動に役立てるため、結果を分析
15	大船渡港湾口防波堤復旧に関する 水質保全対策検討会 座長	大船渡市	H24.2.13 ~H24.3.16	教員 1名	堺 茂樹(工学部)	国土交通省主催の検討会
16	復興まちづくり研究室(たろちゃん研究室)の開設	宮古市	H24.3.11 (開設日)	教員 1名	南 正昭(工学部)	工学部社会環境工学科都市計画学研究室の田 老分室として、グリーンピア三陸みやこ内に設置 ※再掲
17	地域防災研究フォーラムの開催 (岩手大学地域防災研究センター設立記念特別講演会)	盛岡市	H24.7.11	—	地域防災研究センター	ノンフィクション作家の柳田邦男氏による講演 (テーマ:災害を見る視点の転換を~科学の眼、 行政の眼、被害者の眼~)
18	宮古市立田老第一中学校での合同授業の開催 (テーマ:津波の実際から防災を考える)	宮古市	H24.9.27	教員 1名 学生 12名	堺 茂樹(地域防災研究センター長)	学生と生徒による、防災に関する意見交換や、堺 センター長による講義などを実施

○その他の活動

	内 容	活動場所	期 間	従 事 者 数	担当教職員・部署名	備 考
1	WITH(ウィズ)ーいわて三陸震災復興支援チームー による活動	岩手県	H23.3.28～	教職員、学生有志	南 正昭(工学部)	
2	被災学生を対象とした、入学料、授業料、寄宿料の免除・減額	—	H23年度～	—	学生支援課	
3	復興支援ボランティア活動の単位認定	—	H23年度～	—	学生支援課	文部科学省通知(4月1日付け)を踏まえた措置。 ①事前研修、②一定の活動時間(45時間)、③ ふり返しレポートの提出、の3要件を満たした場合 に単位認定。
4	久慈市からの要望に対する対応 1.被災地域のコミュニティの再生 2.大津波の分析及び今後の津波防災について 3.地域コミュニティの在り方に関する調査 4.復興計画案に対する助言 5.災害廃棄物の早期処分について 6.農業における革新的塩害対策の研究 7.被災後の農山漁村の活性化について 8.震災後の磯根等の海底及び地質変動調査について	久慈市 岩手大学	H23.5.30～	教員 5名	麦倉 哲(教育学部) 塚 茂樹(工学部) 晴山 渉(工学部) 河合 成直(農学部) 木下 幸雄(農学部)	5月30日に久慈市に対して、それぞれの要望事項 に対応する教員を報告。現在活動中
5	セシウム除去に関する基礎的検証の発表	大阪府 愛知県 宮城県ほか	H23.9.5～	教員 9名 学生 4名	西川 尚宏(工学部)他	セシウム除去に関する研究成果を各種国際・全 国・地方学会などで報告。10月21日の宮城県で の講演では、優秀講演奨励賞を受賞。
6	サテライト施設、エクステンションセンターの設置					
	釜石サテライト	釜石市	H23.10.1 (設置日)	教員 1名 職員 5名	三陸復興推進本部	【所在地】 釜石市鈴子町15番2号 釜石市教育センター5階
	久慈エクステンションセンター	久慈市	H24.4.3 (設置日)	職員 1名	三陸復興推進機構	久慈市川崎町1番1号 久慈市役所 総合政策部産業開発課内
	宮古エクステンションセンター	宮古市	H24.10.1 (設置日)	職員 1名	三陸復興推進機構	宮古市新川町2番1号 宮古市役所分庁舎 宮古市産業支援センター内
7	花巻市政調査会 「放射性物質の影響を考える学習会」での講演	花巻市	H23.10.13	教員 1名	佐藤 至(農学部)	

8	報告会「復興に向けた岩手大学の取組—『岩手の復興と再生に』オール岩大パワーを—」の開催	岩手大学	H23.10.23	教員 5名 (講演者)	岩淵 明(理事・副学長) 廣田 純一(農学部) 牧 陽之助(人文社会科学部) 名古屋 恒彦(教育学部) 関野 登(農学部)	
9	食の安全安心講座での講演 (テーマ:食品の放射性物質と健康への影響)	山形県	H23.10.28	教員 1名	佐藤 至(農学部)	
10	中央公民館利用団体協議会主催「講演を聞く会」講演 (テーマ:福島原発事故と放射能・放射線について)	盛岡市	H23.11.5	教員 1名	西崎 滋(人文社会科学部)	
11	ママハウスでのボランティア	釜石市	H23.11.5	学生 3名	男女共同参画推進室	ママハウスからの要請
12	全国生涯学習ネットワークフォーラムのパネリスト、運営補助	東京都 山田町	H23.11.5~6	学生 11名 教職員 7名	名古屋 恒彦(教育学部) 地域連携推進センター	
13	被災地の子ども、保護者、教員のメンタルヘルスについての 研修会、相談会	宮古市	H23.11.6	教員 1名	我妻 則明(教育学部)	
14	English Campの実施	滝沢村	H23.11.12~13	学生16名 (うち留学生8名) 教員2名	尾中夏美(国際交流センター)	米国アールラム大学との共催事業 宮古市、釜石市、田野畑村の中学生を23名招 き、英語のみによる体験学習を実施
15	仙台市食の安全トップセミナーでの講演 (テーマ:食品の放射能汚染と健康への影響)	宮城県	H23.11.17	教員 1名	佐藤 至(農学部)	
16	「理科授業の化学実験」学習支援活動 (岩手県立高田高等学校)	大船渡市	H23.11.18	学生 7名 教員 2名	平原 英俊(工学部) 會澤 純雄(工学部)	岩手県立高田高等学校からの要請
17	被災高校生を対象とした入試の実施	岩手大学	H23.11.22	—	工学部	被災した平成24年3月卒業予定の高校生を対象 に特別選抜を実施
18	ソーシャルメディア活用方法に関する講演 (求職者支援訓練の一環として)	釜石市	H23.11.28	教員 1名	五味 壮平(人文社会科学部)	
19	岩手の牛肉安全安心フォーラムでの講演 (テーマ:放射線の基礎と健康への影響について)	盛岡市	H23.12.9	教員 1名	佐藤 至(農学部)	
20	被災学生の就職支援 (企業合同説明会会場への送迎バス運行)	東京都など	H23.12.11 ~H24.1.8	—	キャリア支援課	東京都、千葉県、宮城県などで開催された企業 合同説明会への送迎のため、バスをチャーターし 運行。

21	平成23年度高大連携「ウインターセッション」での講義 (テーマ:震災復興と大学の力)	岩手大学	H23.12.25~26	教員 5名(講師)	堺 茂樹(工学部) 小笠原 敏記(工学部) 廣田 純一(農学部) 土井 宣夫(教育学部) 井上 博夫(人文社会科学部)	
22	平成24年度大学入試センター試験 釜石会場の運営	釜石市	H24.1.14~15	—	入試課	被災受験生の負担軽減のため、県立釜石高校に臨時会場を開設し運営
23	被災受験生を対象とした、入試検定料の免除	—	H24年度入試	—	入試課	
24	岩手大学公開講座 工学部教養講座「東日本大震災について考える」	北上市	H24.1.21	教員 2名(講演者)	小笠原 敏記(工学部) 南 正昭(工学部)	
25	広報用ニュースレター「岩手大学震災復興推進レター」の発行	—	H24.1~	—	総務広報課	県内の市町村ほか関係機関等に広く配布 本学ホームページからダウンロード可 (毎月末発行予定)
26	花巻市市民講演会での講演 (テーマ:放射性物質と食品)	花巻市	H24.2.5	教員 1名	佐藤 至(農学部)	
27	宮古市内の幼稚園訪問、園児と交流	宮古市	H24.2.14	学生 8名(留学生) 教員 1名	岡崎 正道(国際交流センター)	
28	国際研修「絆」 in IWATEの実施	釜石市 陸前高田市	H24.2.27 ~H24.3.2	学生24名 (うち海外学生12名) 教員2名	尾中 夏美(国際交流センター) 松岡 洋子(国際交流センター)	本学学生と海外協定校から招へいた学生が、被災地視察や被災者等からの講義などを通じて防災のあり方を考えるとともに、釜石市内の小中学校や児童館を訪問し、国際交流活動を行った。
29	奥州市地域ぐるみ防災セミナーでの講演 (テーマ:東北地方太平洋沖地震とその余震について~4月7日の東北地方太平洋沖地震の余震時の奥州市における高密度アンケート調査~)	奥州市	H24.3.10	教員 1名	山本 英和(工学部) 工学部付属地域防災研究センター	
30	シンポジウム「東日本大震災からの復興の現状とこれから~人の多様性の視点から~」の開催	岩手大学	H24.3.16	—	男女共同参画推進室	男女共同参画推進室の復興支援の取り組みや今後の課題について報告を行った。 (参加者 約50名)
31	日本科学未来館・日本化学会主催 さわって遊べる展覧会「きみたちの魔法 科学新発見」の共催・運営支援	大槌町	H24.3.18~20	理事・副学長 1名 教職員 延べ44名 学生等 延べ18名	小川 智(理事・副学長) 成田 榮一(工学部)他 工学系技術室	3日間で619名が来場

32	「奥州市地震調査研究中間報告会」の開催	奥州市	H24.3.20	教員 2名(講演者)	土井 宣夫(教育学部) 山本 英和(工学部) 工学部付属地域防災研究センター	主催： 奥州市災害対策本部 岩手大学 岩手大学工学部付属地域防災センター
33	「男女共同参画の視点をふまえた復興支援の取り組み 報告書」の発行	—	H24.3	—	男女共同参画推進室	
34	遺児を含む子どもたちの活動のサポートおよび見守り	遠野市 花巻市	H24.5.19～20	学生 延べ15名 教職員 延べ3名	男女共同参画推進室	「夢のつばさプロジェクト」からの要請
35	ICT機器の寄付	釜石市	H24.8.27	学生 延べ18名	岩手大学生協	学内や街頭での募金活動を行い、ノート型パソコン30台、プリンター1台、モバイルルーター1台を釜石市に寄付
●各種委員会等への参画						
36	岩手県東日本大震災津波復興委員会 委員長	岩手県	H23.4.11～	学長	藤井 克己(学長)	8月11日、「岩手県東日本大震災津波復興計画」を策定
37	東北農政局 食料・農業分野における災害復興に向けた専門家会議 委員	宮城県	H23.9.13～	教員 3名	長澤 孝志(農学部長) 小野寺 英輝(工学部) 佐藤 至(農学部)	
38	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 平成23年度木質系震災廃棄物等の活用可能性調査(岩手県域調査)検討委員会 委員	東京都	H23.10.1 ～H24.3.9	教員 3名	岡田 秀二(農学部) 伊藤 幸男(農学部) 小野寺 英輝(工学部)	
39	岩手県災害廃棄物処理業務プロポーザル審査委員会 委員	岩手県	H23.10.4～12	教員 1名	中澤 廣(工学部)	
40	岩手県 放射線内部被ばく健康影響調査有識者会議 座長・委員	岩手県	H24.1.13 ～H24.3.31	副学長 1名 教員 1名	西崎 滋(副学長)※座長 佐藤 至(農学部)	平成24年3月2日開催の第2回会議にて、調査評価結果公表
41	岩手県被災者健康支援事業運営協議会 委員	岩手県	H24.2.8 ～H25.3.31(予定)	教員 1名	立身 政信(保健管理センター)	

※平成23年10月以前から継続している活動も一部含む。(平成23年10月以前の主な活動については、「震災復興に関する岩手大学の主な活動(平成23年3月～9月)」に掲載)

※活動場所について、都道府県名のない市町村は、すべて岩手県内の市町村。

※担当教職員名について、所属・役職はいずれも当時のもの。